

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
植木中央地区

平成22年5月

熊本県熊本市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	交差点事故件数	件	25	20	20	確定	○	あり	13	H22年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新たな信号機設置を含めたクラック交差点(県道)の改良整備により、交差点における安全性が向上し数値目標を達成した。
指標2	住環境満足度	段階	3	4	4	確定	○	あり	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	対象地区に対する土地区画整理事業等による市街地整備の効果発現により、住環境満足度が向上し数値目標を達成した。
指標3	狭隘道路率	%	23.4	12.9	21.8	確定	△	あり	21.8	H22年4月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業の事業施行期間延伸によって、当初計画で想定した狭隘道路率の目標達成は困難であるが、事業の進展によって、狭隘道路の削減は着実に進行している。
指標4	まちづくり活動の充実	人/年	40	80	100	確定	○	あり	135	H22年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業進捗に合わせたまちづくりに対する気運の高まりや、ワークショップ等を通じ、まちづくり活動への理解が向上し数値目標を達成した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	都市基盤施設の整備改善による快適な住環境について	段階	/	/	4	確定	/	/	-	-	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	アンケート調査における、「都市基盤施設の整備改善によって快適な住環境になった」という回答結果には、道路狭隘率の減少が一要因として影響している。
その他の数値指標2	/	/	/	/	/	確定	/	/	H 年 月	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/
その他の数値指標3	/	/	/	/	/	確定	/	/	H 年 月	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	快適な住環境の確保	—	—	・新しい街並みができたことで、ゴミ収集場所等についても表通りから裏通りへの変更など、景観に配慮した他の機関等との協議を含めた検討及び実施を図る。
	まちづくり活動の充実	—	—	・組織化に向けた持続的なまちづくり活動の充実や、今後の基盤整備の進行に伴い、更なるボランティア人数を確保するため、まちづくりの啓発活動を含めた自治会等と行政の協働を図る。
	住民主体のまちづくりの推進	—	—	・公園整備およびモニュメント等の作成については、住民参加型の官民協働によるワークショップを開催し、各地区毎にある程度の自主管理を含めた公園整備計画の検討及び実施を図る。
改善策	基盤整備を含む円滑な市街地整備の推進	・当初計画期間に完了できない整備事業について、必要性和重要性を戦略的に検討した上で、整備優先順位を明確にし、都市再生整備計画を策定。	・まちづくり交付金事業を平成22年度より開始。	—
・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・特になし。	—	—	—